

出町茶論だより

でまち さろん No. 70
2022.3.1



季節の演出

季節に合わせて掛け軸や絵画を週ごとに架け替えて、季節感を楽しんでいただいています。



正月（小松引き）
正月初めの子の日に外出して、長寿祈願のため、小さな松の木を引き抜いてくる貴族たちの遊びを絵にしています。



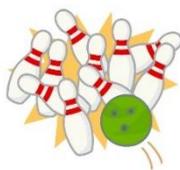
今も正月に玄關先に根の付いた松を飾る風習が京都に残ります。



節分（大津絵）
恐ろしい鬼が、念仏を唱えて布施を乞いながら歩く姿を描いています。



梅花1
“東風吹かば匂い起こせよ梅の花 主なしとて春な忘れぞ”
北野天満宮の祭神菅原道真が詠んだ歌の掛け軸です。



梅花2
日本画家 浜田歎の白梅図です。

季節の俳句

第五回 出町句会 令和四年二月	兼題句	鬼は外ビシヤリとお用めや祖母教え 夢喜子	周三
	老妻とハーフサイズの悪方巻	周三	
	福豆を敷えをおして夜も更け	周三	
	鬼やらい心のなかも空つげに	久美子	
自由句	山眠る新しい自分何を知る	とし子	
	チューリップ如月の風音らぢめ	久美子	
	穏やかに川面ひかるや鳥かえる	節子	
	バスの窓陽光まぶし春まじか	周三	



毎月、二月の俳句です。初めて作句する方もおられますが、日常生活のさりげない風景を句に込めておられます。

レクリエーション

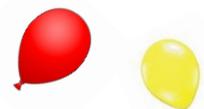
風船を使ったレクリエーションです。皆さん、結構集中して真剣に挑戦されています。



風船をクラブで打ち数字の付いた場所に落ちた点数の合計を競います。



風船を10個蹴り何個赤枠の中に入るかを競います。



ボーリングのピンをボールを蹴り倒します。



生きがいと社会とのつながり



左から、小菅さん、竹内さん、下坂さん

京都SKYシニア大学「人生100年・探究心コース」で“認知症！？診断が4回も変わったオヤジ体験談”をテーマに、映画「折れ梅」原作者、小菅もと子さん、テーマ当事者で広島在住の竹内裕さん、お二人の対談形式で行いました。その後、京都市在住で若年性認知症と診断された下坂さんにもお入りいただき、受講者との質疑応答を行いました。竹内さん、下坂さんに共通しているのは、認知症であっても、生きがいを持ち社会とのつながりがあることでした。下坂さんはカメラを通して記憶をつなぎ、3/15~20、京セラ美術館で写真展を開催されます。

京都SKYシニア大学は、今年度も5月から始まります。



◆どうぞご利用のお問い合わせ下さい◆

出町茶論(でまちさろん)

☎075-204-4716

京都市上京区寺町通今出川上る表町21 市川ビル

<https://demachi-salon.site/>